

主な沿革

- 明治 9.12 両石村両石簡易小学校創立
- 12.7 公立鶴住居小学校設立
- 17.7 鶴住居小学校校舎建設
- 20.5 鶴住居小学校と両石小学校を合併し鶴住居尋常小学校と改称
- 21.12 鶴住居尋常小学校校舎建設移転
- 25.8 両石尋常小学校が独立
- 29.6 両石尋常小学校校舎、三陸大津波による流失で廃校し鶴住居尋常小学校に合併
- 34.4 鶴住居尋常高等小学校と改称
- 昭和 8.3 三陸大津波により、両石分教場全校舎流失
- 16.4 鶴住居国民学校と改称
- 22.4 鶴住居小学校と改称 高等科廃止
- 30.4 釜石市発足、釜石市立鶴住居小学校と改称
- 30.11 校歌制定(作詞 藤井逸郎 作曲 下総皖一)
- 44.8 特殊学級1学級開設
- 44.11 創立90周年記念式典挙行
- 49.3 本校新校舎移転、両石分校・室浜分校廃校
- 50.6 本校体育館竣工
- 50.10 新校舎落成記念式典挙行
- 54.7 プール新設
- 54.10 創立100周年記念式典挙行
- 56.3 外山分校廃校
- 平成 3.2 学校給食本実施
- 11.10 創立120周年記念式典挙行
- 19.4 釜石市立箱崎小学校と統合
- 21.5 創立130周年大運動会
- 22.4 釜石市立白浜小学校と統合
- 23.3 東日本大震災の津波により校舎が全壊 学区の大部分に大きな被害
- 23.4 双葉小学校と小佐野小学校の校舎を借りて学校再開
- 24.2 仮設校舎完成
- 24.3 仮設校舎屋内運動場完成
- 27.7 新校舎建設安全祈願祭
- 28.10 岩手国体開会式6年生参加
- 28.12 釜石市交通安全模範校受賞
- 29.4 新校舎落成記念式典挙行
- 30.2 岩手県書写書道コンクール学校賞受賞
- 30.10 第1回「てんでんこマラソン大会」実施
- 令和 元.5 創立140周年大運動会
- 元.10 釜石市指定学校公開研究会開催(防災教育)
- 元.12 1.17 防災未来賞ぼうさい甲子園「津波ぼうさい賞」受賞
- 2 コロナ禍による新しい生活様式のもとでの教育活動開始
- 3.12 愛知県東海市富木島小と防災に関するリモート交流会を実施
- 5.3 2年ぶりに「いのちを大切にする集会」を実施
- 5.5 新型コロナが第5類への移行により、学校行事が通常開催

2024年度

学校要覧



2024年度 職員一覧

	職名	氏名	担任等	校務分掌等	着任
1	校長	佐藤一成		学校経営総括	R4
2	副校長	坂本幸治		総務全般・渉外	R5
3	主幹教諭	千田貴子		教務主任	R6
4	教諭	加藤睦美	1年担任	保健主事・保健指導・安全指導	R5
5	教諭	鈴木航洋	2年担任	情報・視覚教育、タグラグビー	R3
6	教諭	赤崎公宏	3年担任	図書館教育、クラブ活動	R6
7	教諭	木村桃子	4年担任	道徳教育・防災教育	R4
8	教諭	菅原稔弘	5年担任	生徒指導主事・体力づくり・課外体育	R5
9	教諭	箱石淑子	6年担任	児童会活動・地区子ども会	R6
10	教諭	井筒千絵子	特別支援学級1	研究主任	R5
11	教諭	山野目隆	特別支援学級2	特別支援コーディネータ	R3
12	教諭	菊池彩香		(育児休暇中)	R2
13	教諭	照井さつき	専科・少人数指導	作品応募・掲示・音楽指導	R6
14	養護教諭	日山千尋		保健教育・給食・清掃指導	R6
15	栄養教諭	沢里舞帆		食育指導	R6
16	主事	山崎美香		学校事務全般	R5
17	講師	菊地理恵	専科・少人数指導	図書館指導、作品応募	R6
18	講師	柴田和人	専科・少人数指導	外国語活動・学級活動	R5
19	支援員	金子浩美	1・2年児童指導支援		H30
20	支援員	大久保清美	1・2年児童指導支援		R6
21	用務員	岩鼻功悦		校務全般	R2

学校目標

- 1 進んで自分の考えを表現する子
- 2 明るく思いやりのある子
- 3 心身ともに健康でたくましい子

校章



緑の山々に囲まれ、清らかな川の流れる鶴住居町は、昔、沼や沢が点在し、海鶴の生息地であったと言われる。鶴の羽は、健やかに育てと慈しむ親の愛情であり、力強くはばたく子どもの姿である。「小」は、輝かしい伝統を受け継ぎ、地域とともに発展する鶴小の姿である。「波」は、「やさしく、正しく生きよ。」という母の声であり、「荒波を越えて、たくましく伸びよ。」と励ます父の声である。美しい自然の恩恵と多くの人々の慈愛の中で、「心豊かに」「たくましく」「正しく伸びよ」という願いをこめた校章である。

釜石市立鶴住居小学校

〒026-0301 岩手県釜石市鶴住居町第13地割20番地3  
TEL (0193) 28-3705 FAX (0193) 28-3706

児童数

学級・学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	12	9	9	15	6	14	65
女	11	18	12	14	11	12	68
合計	23	27	21	29	17	26	143

校歌

一、海は七色にじのゆめ  
波はやさしい母のうた  
もやを聞いてのぼる日の  
ひかりの中にうかび立つ  
わが鶴住居小学校

二、花のかおりは風にゆれ  
実のいなほはこがねいろ  
心ゆたかに行く川の  
清さにまけぬ心持ち  
清くみながら育ちゆく

三、うかぶほほえみ美しく  
のびるからだのたくましさ  
星にあやかるいさりの  
またたく夜もほがらかに  
わくわくした声がこだまする

作詞 藤井 皖一  
作曲 下総 逸郎

【主な学校行事】

月	主な行事
4	始業式 入学式 交通安全教室 PTA総会 避難訓練
5	地域訪問 運動会
6	下校時避難訓練 修学旅行 プール開き 宿泊体験学習
7	鶴小・栗小交流会 期末面談 終業式 地区水泳記録会
8	始業式 夏休み作品展 フリー参観
9	小中合同防災訓練 地区陸上記録会 クリーン作戦
10	避難訓練 生活科社会科見学 てんでんこマラソン 命の学習参観日
11	連合音楽会 学習発表会
12	鶴小オリンピック 期末面談 終業式
1	始業式 冬休み作品展 児童会選挙
2	入学説明会 感謝の会 授業参観 6年生を送る会
3	命を大切に集まる会 修了式 卒業式

学校目標

—ふるさとを愛し、誇りに思い、その復興・発展を担う人材に—  
**進んで自分の考えを表現する子 明るく思いやりのある子 心身ともに健康でたくましい子**

学校経営の重点 **かしこく やさしく たくましく**

「確かな学力」を育むよう学習指導の充実に努めます。

「思いやりの心」を育むように生徒指導・復興教育・心の教育」の充実に努めます。

「命を大切に」することを基本に、健康安全指導に努めます。

学校では

- ◎ わかる授業をし、基礎的・基本的内容の定着と活用の力を伸ばします。(国語・算数の授業内容がわかる90%)
- ◎ 主体的に学習に取り組める授業づくりを目指し工夫・改善に努めます。(しっかり聞く90% はっきり話す80%)
- ◎ 漢字・計算大会などで学習基盤の力を定着させます。(合格100%)
- ◎ 全国学習状況調査やNRTの実施と補充に努めます。(全国比・県比100)
- ◎ 目標冊数を決めて取り組みます。  
1,2年70冊 3,4年50冊 5,6年40冊  
(本を読むのが好き80%)

- ◎ 気持ちのよいあいさつや返事を習慣化させます。(元気にあいさつ90% はっきり返事90%)
- ◎ 友だちと協力して学習・遊び・係活動・掃除に取り組み、互いに認め合える集団作りを目指します。(友だちと仲良くしている90% ありがとう・ごめんなさいを言うことができる90%)
- ◎ 自ら学校生活の課題に気付き、考え、行動できるよう、自治力を高めます。
- ◎ 伝承活動等、地域の方々とのふれあいや学びを大切にします。(鶴小虎舞・農業体験等)
- ◎ 週1時間の道徳の授業を充実させ、子ども達の道徳性を育みます。

- ◎ 家庭と連携し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣化を図ります。
- ◎ 体力づくりに取り組みます。(体力テストA+B=50%)
- ◎ むし歯や生活習慣病の予防・早期治療を勧めます。(フッ化物洗口の継続実施)
- ◎ 家庭・地域・関係機関と連携し、子どもの安全を守ります。
- ◎ 防災授業や避難訓練等を通して、自他の命を大切に育む児童を育てます。
- ◎ 子どもの人格を大切にし、よさを認め、寄り添う指導に努めます

家庭では

- ◎ 家庭学習を毎日行いましょう。(10分×学年をノーメディアで)
- ◎ 前日に学習用具をそろえさせ、忘れ物をなくしましょう。
- ◎ 読書に親しませ、活字に触れる機会をもちましょう。(家族で読書をお願いします。)
- ◎ ゲームやスマホは、家でルールをつくり守りましょう。

- ◎ 家族で朝夕のあいさつを交わし、聞かれたことは、はっきり返事をしましょう。
- ◎ お手伝いを毎日しましょう。(毎日お手伝い70%)  
(やったら「ありがとう」の声掛けをお願いします。)
- ◎ 地域の行事や活動に積極的に参加しましょう。
- ◎ 家族での大切さを大切に、父母や祖父母の小さい頃のふるさとの話を聞かせてあげましょう。  
(ノーメディアデーの取り組み達成 90%)

- ◎ 早寝・早起き・朝ご飯の習慣を身につけましょう。(早寝・早起き80% 朝ご飯100%)
- ◎ むし歯などの治療は積極的に受診しましょう。(むし歯治療完了者70%)
- ◎ 通学路の安全を親子で確認しましょう。
- ◎ 家にいるときや登下校時の避難場所や避難方法について話し合ひましょう。(家族で避難・方法の確認100%)
- ◎ 子どもの人格を大切にし、よさを認め、ほめましょう



【学校運営協議会委員】

PTA 会長	花 輪 妙 子
鶴住居地域会議	古 川 幹 敏
元学校評議員	沖 裕 之
主任児童委員	市 川 淳 子
応援センター	松 下 隆 一
鶴住居青年会	佐 々 木 実
スクールガード	古 川 愛 明
いのちをつなぐ未来館	菊 池 啓
校 長	佐 藤 一 成
副校長	坂 本 幸 治

【PTA 役員】

会長	花 輪 妙 子
副会長	佐々木 美 貴
副会長	川 崎 順 子
副会長	佐 藤 一 成
事務局長	佐々木 岬
事務局次長	澤 口 慎 司
事務局次長	千 葉 麻 美 子
事務局次長	坂 本 幸 治
会計	山 崎 美 香
会計監査	浦 島 千 草
会計監査	中 里 充 良

【学校医等】

内科	濱 登 文 寿
歯科	山 崎 ひとみ
耳鼻科	堀 晃
眼科	堀 美 知 子
薬剤師	金 野 宏 美